

科目名	社会的養護						
	【保育士必修】						
授業形態	講義	学年	1年	開講時期	前期	単位数	2単位
担当教員	鈴木 勲						

内容および計画	社会的養護の基礎原理及び社会的養護下にある子どもの現状、児童福祉施設の役割を学び、養護を必要とする子どもの自立支援のための基礎知識を身に付けていくことを目的とする。また、社会的養護の基礎理念、社会的養護の法制度、子どもの権利擁護などの観点から授業を進めていく。
1	ガイダンス 講義の趣旨説明及びスケジュールの確認を行う。
2	子どもの社会的養護 子どもの社会的養護の本質を学ぶ。
3	日本における社会的養護の仕組み 社会的養護の制度や児童相談所の役割について学ぶ。
4	社会的養護に携わる専門職 専門職とは何か、他職種とのチームアプローチを実践するために必要な役割やその可能性について理解する。
5	家庭支援の理論と実践 子育て困難家庭への諸施策とソーシャルワークについて学ぶ。
6	家庭的養護の理念と里親制度 家庭的養護の理念と日本における里親制度の現状と課題について学ぶ。
7	乳幼児の生命と健やかな育ちの保障 乳幼児の発達保障と権利擁護及び社会的養護との関係性について理解する。
8	児童養護施設の歴史と自立支援 児童養護施設の歴史的な変遷と自立支援をめぐる課題について学ぶ。
9	非行のある子どもの自立支援 非行少年への実践的な支援について学ぶ。
10	情緒障がいのある子どもの社会的養護 情緒障がい児に対する実践的な支援及び情緒障がい児短期治療施設の課題と将来像について学ぶ。
11	知的・身体的障がいのある子どもの社会的養護 知的・身体的障がい児と社会的養護について理解する。
12	児童養護施設における子どもの権利擁護 児童養護施設における子どもの権利擁護システムの現状と課題について学ぶ。
13	当事者から見た日本の社会的養護 当事者から見た社会的養護下での生活及び社会的養護の課題について学ぶ。
14	社会的養護の今後の課題 日本の社会的養護の現状や動向を踏まえ、その意義と施設保育士の役割を再確認する。
15	全体のまとめと振り返り 本講義全体のまとめと振り返りを行う。併せて、定期試験もしくはレポート提出についての説明を行う。

教科書	教科書の指定はしない。必要な資料は授業時に毎回配布する。
-----	------------------------------

参考書	幼稚園教育要領・保育所保育指針 チャイルド本社（ISBN9784805401224） 社会福祉小六法 ミネルヴァ書房編集部 教育要領、保育指針、小六法とも、どの出版社のものでも構いませんが、新年度のものとする。その他の参考書については、授業内で適宜、紹介する。
-----	---

成績評価	評価方法	割合
	学期末のレポート	40%
	リアクションペーパーへの記述状況	60%
全体的な基礎知識を問うレポートの提出を求める。社会的養護に関する今日的な課題について、問題意識を持って受講するようにして下さい。		

学習到達目標	1.児童福祉施設における保育士の仕事と役割について学ぶ。 2.社会的養護の原理や理念、仕組みについて理解する。 3.社会的養護領域の事例を活用し、社会的養護を必要とする子どもについての理解を深める。
--------	---

先修条件	特になし。
------	-------

その他	授業展開は予定であり、授業の進捗などにより、内容などが変更される場合もある。
-----	--